

令和元年度

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

交 流 大 会

社会教育委員研修会

学びと活動の循環をつくる

～「つながり」と「地域課題の解決」を促す
社会教育の推進

日時:令和元年 12月 14日(土)午後1時30分～

会場:三鷹市公会堂 光のホール

主催:東京都市町村社会教育委員連絡協議会



**令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会実施概要**

1 趣 旨	個人の学びが学びで終わるのではなく、その成果を地域の活動の中で積極的に生かすことで、人とつながるとともに、誰かの役に立っているという喜びをもたらし、より積極的にコミュニティに参画する熱意や、地域の課題解決のために新たな学びを求めるといった、持続的な学びと活動の循環をめざす。																									
2 テ ー マ	「学びと活動の循環をつくる ～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進																									
3 日 時	令和元年12月14日（土）午後1時30分から4時30分まで																									
4 会 場	三鷹市公会堂 光のホール																									
5 内 容	<p>■第1部 交流大会</p> <p>○式典</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">開 会</td> <td style="width: 35%;">都市社連協副会長</td> <td style="width: 35%;">宮野 良一（青梅市）</td> </tr> <tr> <td>挨拶</td> <td>都市社連協会長</td> <td>田中 雅文（三鷹市）</td> </tr> <tr> <td>来賓祝辞</td> <td>三鷹市教育長</td> <td>貝ノ瀬 滋 氏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課長</td> <td>大木 琢 氏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全国社会教育委員連合常務理事</td> <td>馬場祐次朗 氏</td> </tr> </table> <p>○各ブロック研修会実施報告</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">第1ブロック幹事</td> <td>日の出町</td> </tr> <tr> <td>第2ブロック幹事</td> <td>国分寺市</td> </tr> <tr> <td>第3ブロック幹事</td> <td>多摩市</td> </tr> <tr> <td>第4ブロック幹事</td> <td>清瀬市</td> </tr> <tr> <td>第5ブロック幹事</td> <td>調布市</td> </tr> </table> <p>質疑応答</p> <p>■第2部 社会教育委員研修会</p> <p>○講演 「日本の伝統文化 能を楽しむ ～ 舞を見て ^{うたい}謡を体験しよう ～」</p> <p>講師 青木 一郎 氏 質疑応答</p> <p>閉 会 都市社連協会計 吉澤 良保（三鷹市）</p>	開 会	都市社連協副会長	宮野 良一（青梅市）	挨拶	都市社連協会長	田中 雅文（三鷹市）	来賓祝辞	三鷹市教育長	貝ノ瀬 滋 氏		東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課長	大木 琢 氏		全国社会教育委員連合常務理事	馬場祐次朗 氏	第1ブロック幹事	日の出町	第2ブロック幹事	国分寺市	第3ブロック幹事	多摩市	第4ブロック幹事	清瀬市	第5ブロック幹事	調布市
開 会	都市社連協副会長	宮野 良一（青梅市）																								
挨拶	都市社連協会長	田中 雅文（三鷹市）																								
来賓祝辞	三鷹市教育長	貝ノ瀬 滋 氏																								
	東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課長	大木 琢 氏																								
	全国社会教育委員連合常務理事	馬場祐次朗 氏																								
第1ブロック幹事	日の出町																									
第2ブロック幹事	国分寺市																									
第3ブロック幹事	多摩市																									
第4ブロック幹事	清瀬市																									
第5ブロック幹事	調布市																									
6 参加対象	交流大会 多摩地区社会教育委員及び関係職員等 社会教育委員研修会 上記及び一般市民																									

第1ブロック研修会実施報告

報告者：日の出町社会教育委員の会議 議長 須藤 芳正

開始日時	令和元年 10 月 26 日 (土) 13 時 30 分～16 時 15 分 【台風 19 号の影響により中止】		
場 所	日の出町グリーンプラザ		
参加者数	—	幹事市	日の出町

テーマ	～学びを通して自然との共生をめざし、人と地域のつながりを促す社会教育の推進～		
形式 (方法)	・施設見学 ・活動報告 ・講演		

【概要】

1. 施設見学 「東京たま広域資源循環組合 谷戸沢最終処分場・谷戸沢記念館」
東京たま広域資源循環組合は、多摩地域 25 市 1 町の一般廃棄物最終処分場の設置・管理と新たな資源循環エコセメント事業を広域的に行っている一部事務組合である。

2. 経緯説明 「ごみ最終処分場跡地から自然再生への過程」

東京たま広域資源循環組合（以下「循環組合」という）は昭和 55 年当時、およそ人口 300 万人を擁する多摩地域 25 市 1 町が、日の出町の山の谷合に作った廃棄物を広域的に処分するための施設である。

日の出町は循環組合と結んだ環境汚染対策や自然保護などについての協定が確実に守られているか、地元自治会の対策委員会とともに監視する役目を担っている。谷戸沢最終処分場は平成 10 年に埋め立てが終了したが、現在でも年間 30 日程度、場内パトロールや水質・大気・悪臭や地下のごみ層の温度等の検査に立ち会い、異常がないか確認作業を続けている。

自然再生への取り組みとしては、里山的自然環境が再生した谷戸沢最終処分場を利用した自然観察会やオオムラサキ放蝶会などを開催し、最終処分場の維持管理や自然再生に向けた取り組みが行われている。

自然観察会

自然再生が進んでいる谷戸沢最終処分場では、清流復活用貯水池に設置した野鳥観察デッキなどで、処分場に生息する生き物を観察することができる。また、谷戸沢記念館では、調査で収集した昆虫標本、生態記録写真などを展示する展示室があり、環境教育にも利用されている。

オオムラサキ放蝶会

日の出町の小学生による里山を代表する国蝶オオムラサキの放蝶会を行っている。放蝶会はごみ処分場の役割に加え、環境教育の一環としてオオムラサキやモリアオガエルなど、身近に生息している動植物の生態やヒトとのつながりについて、子ども達が学習する機会になっている。

3. 講演 「谷戸沢処分場の自然再生の取り組み」

講師 環境総合研究所 代表取締役 吉田 裕之 氏


第2ブロック研修会実施報告

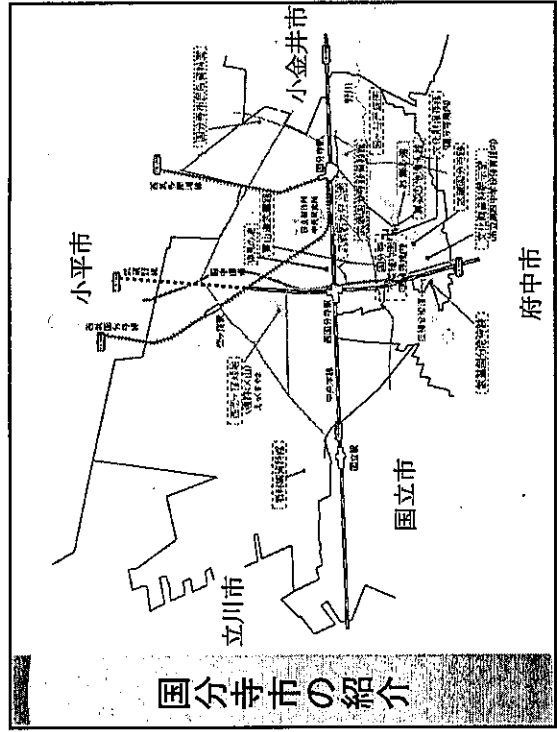
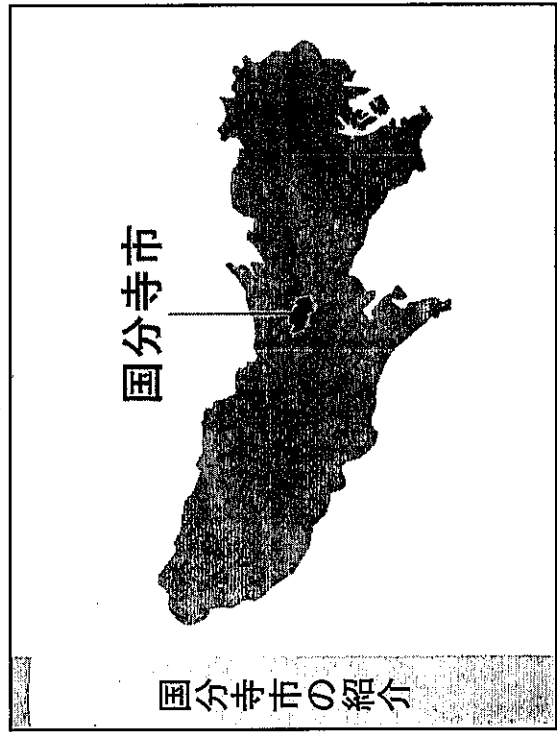
報告者：国分寺市社会教育委員の会議 委員 飯沼 寛量

開始日時	令和元年10月26日(土) 13時30分～16時00分		
場 所	cocobunji プラザ リオンホール		
参加者数	38名	幹事市	国分寺市

テーマ	人と人がつながり、学びが循環するまちの実現を目指して ～郷土愛を育むために～
形式(方法)	活動報告とグループワーク
【概要】 1 開会 ・開会の挨拶 ・主催者挨拶 ・開催市挨拶 2 第1部 活動報告 3 第2部 グループワーク 4 閉会	

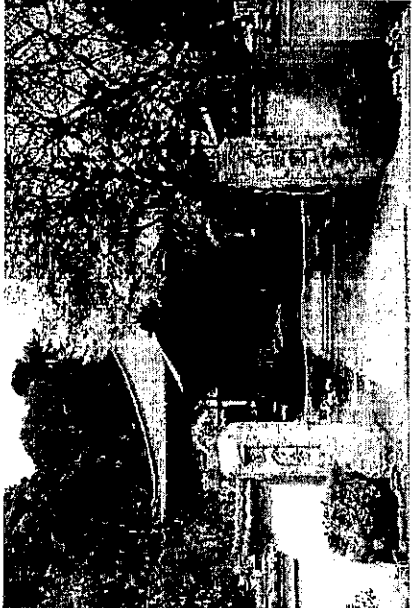
活動報告

- 1) 国分寺市の紹介
 - 2) 近年の活動
 - 3) 現在の活動
 - 4) これからの活動
- 



歴史

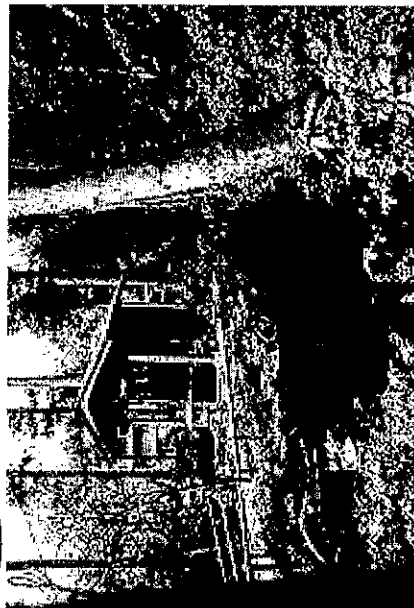
武蔵国分寺



国分寺市の紹介

自然

真姿の池



国分寺市の紹介

科学

日本の宇宙開発発祥の地

パゾンケットV7°リカ



パゾンケット製作風景




国分寺市の紹介

特徴

こくぐみ

国分寺三百年野菜



国分寺市の紹介

教育ビジョン

国分寺市教育ビジョンの基本的な考え方

人と人とのつながりが、学びが循環するまちの実現を目指して

基本理念
国分寺市教育委員会
の教育目標

- 互いの人格を尊重し、思いやりのある心豊かな市民
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな市民
- 健康でたくましく、共に生きる市民

国分寺市社会教育委員 近年の活動

国分寺市社会教育委員 近年の活動

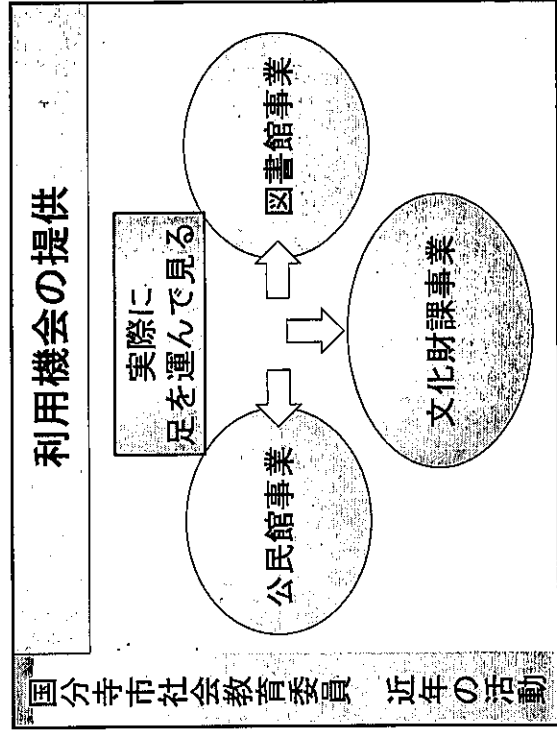
【平成26年～27年度】 諮問と答申
「子どもの活動拠点としての社会教育施設の在り方について」の諮問

諮問には

大人たちが相互に支えあう間接的な関わりを含めた環境が大切

その環境の中で他人との関わり方を学び、やがて地域の担い手となる

発達段階に応じて公共施設の利用機会を提供することは、子どもたちの自主性の育成や地域に目を向けるきっかけになる



国分寺市社会教育委員 近年の活動

提言

- ① 使いやすい施設・居場所となる施設
- ② 人を育てる施設
- ③ 時・場・人とのつながりを生み出す施設

文化財展示施設



特色
歴史や文化財を身近に感じて
郷土の理解を深めてもらう

国分寺市社会教育委員 近年の活動

課題

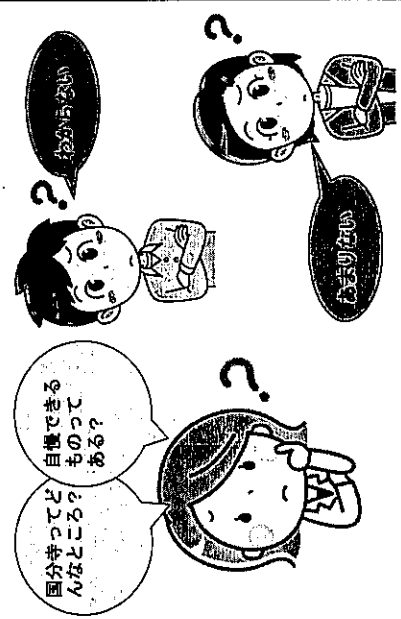
事業情報が施設を利用しない市民に届いていない

事業の魅力や価値を市民全体に伝わりきれていない

利用者や参加者の固定化

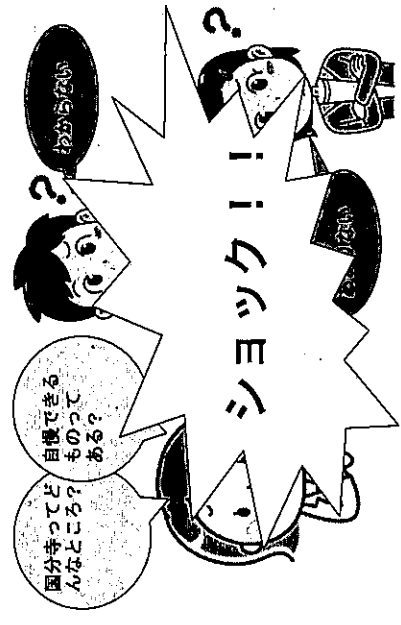
国分寺市社会教育委員 近年の活動

課題



国分寺市社会教育委員 近年の活動

課題



国分寺市社会教育委員 近年の活動

郷土愛を育むとは？

課題
我々は社会教育委員として何をすべきなのか

議論
委員それぞれが、郷土への思いや、培われた要因などについて

国分寺市社会教育委員 現在の活動

子どもと地域社会を繋ぐもの

具体的な事柄

地域ごとに分かれて
再度調査に出向いた

国分寺市社会教育委員 現在の活動

地域ごとのリソース〈資源〉

活発な公民館活動
地区活動（どんと焼き）
宇宙開発発祥の地
こくへつ300年
古代米赤米

国分寺市社会教育委員 現在の活動

幻の赤米
—国分寺の稲作について—

国分寺市社会教育委員 現在の活動

天平メニユー・国分寺ごはん

国分寺市社会教育委員 現在の活動

熊野神社 赤米奉納新嘗祭

国分寺市社会教育委員 現在の活動

赤米は地域の中で
多様なつながりを
生み出している

情報

小学校で稲の学習に赤米を使用

聞き取り

各小中学校へ
再度調査

地域との協働をどのように模索して
いるのか

国分寺市社会教育委員 現在の活動

各小中学校での取り組み

現在 の赤米 の取組み	今後の赤米 の取組み	現在の 地域連携	今後の 地域連携
×			
×			
×			
○			
○			
×			
○			
×			
×			

国分寺市社会教育委員 現在の活動

現 状

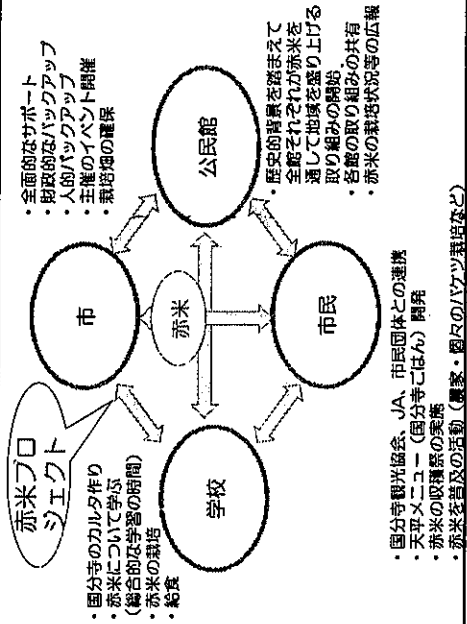
赤米の活動がある地域となない地域
で認知度に差がある

学校だけでは取組みに限りがある

地域との協働は、学校ごとで様々

国分寺市社会教育委員 現在の活動

循環させるためには



今後の活動

社会教育委員として
何ができるのか

国分寺市社会教育委員 今後の活動

今後の活動

社会教育委員として

- ◆赤米プロジェクト関係箇所の連携サポート
- ◆わんぱく学校内容検討のサポート
赤米作りについて
 - ・年間計画（作業手順など）、草取り、稲刈りなど
 - ・栽培作業のためのボランティア育成・募集（年間）
 - ・赤米栽培を普及の広報
- まちづくりの担い手としての育成プログラムの強化
 - ・シニアリーダー育成
 - ・青少年地域リーダー養成

第3ブロック研修会実施報告

報告者：多摩市学びあい育ちあい推進審議会 会長 炭谷 晃男

開始日時	令和元年10月5日(土) 13時30分～16時15分		
場 所	多摩市立関戸公民館大会議室(ヴィータ・コミュニエ8階)		
参加者数	48名	幹事市	多摩市

テ ー マ	学びと活動の循環をつくる — 学校・家庭・地域の連携・協働について —
形 式 (方 法)	多摩市の事例発表、グループワーク

【概要】

■開 会 (13:30～13:50)

開 会 炭谷 晃男 (多摩市学びあい育ちあい推進審議会会長)
 主催者挨拶 田中 雅文 (東京都市町村社会教育委員連絡協議会会長)
 開催市挨拶 清水 哲也 (多摩市教育委員会教育長)

■第1部 (13:50～14:55)

講 演 多摩市の地域学校協働活動の取り組みと課題について
 発 表 者 (1) 山崎 源太 (多摩市地域教育力支援コーディネーター)
 (2) 前島 正明 (多摩市立多摩中学校校長)
 (3) 塩田 明美 (多摩市立多摩中学校地域学校協働本部代表)

(1) 統括コーディネーターから制度の説明や多摩市全体の取り組み、(2) 校長として学校を経営する立場から地域との関わり方について、(3) 活動を始めるにあたっての想いと活動を継続するために工夫していることをそれぞれ紹介した。

■休 憩 (14:55～15:05)

■第2部 (15:05～16:05)

情報交換 [テーマ：学校・家庭・地域の連携・協働について]

7つのグループに分かれて、地域ごとの取り組み状況や困っていること等について情報を交換するグループワークを45分間行い、各グループで話し合われたことを15分間で発表した。

■閉 会 (16:05～16:15)

次期開催挨拶 吉田 和夫 (町田市社会教育委員会会長)
 閉 会 大原 立江 (多摩市学びあい育ちあい推進審議会副会長)

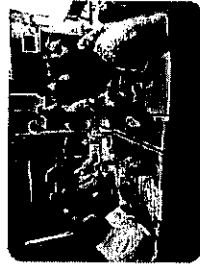
令和元年度東京都町村社会教育委員連絡協議会 第3ブロック研修会

研修テーマ
学びと活動の循環をつくる ～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進～
議題とブロック研修会テーマ
学びと活動の循環をつくる ― 学校・家庭・地域の連携・協働について ―

令和元年10月6日(土) 13:30～18:15
多摩市立開戸公民館大会議室(ヴィータ・コミュニケーション6階)

● スケジュール

- 開 会
- 第1部 事例発表 (65分)
- 《 休 憩 》
- 第2部 情報交換 (60分)
- 閉 会



● 第1部

■ 事例発表

「多摩市の地域学校協働活動の
取り組みと課題について」

■ 発表者

- (1) 山崎 源太 (多摩市地域教育力支援コーディネーター)
- (2) 前島 正明 (多摩市立多摩中学校校長)
- (3) 塩田 明美 (多摩市立多摩中学校地域学校協働本部代表)



(1) 山崎 源太 …多摩市地域教育力支援コーディネーター

○平成20年度 地域教育力支援コーディネーター配置

⇒多摩市全体を包括するコーディネーター

○平成23年度 教育連携支援事業実施

⇒学校を地域が支援し、子どもたちの社会活動を支援

⇒学校と地域、支援団体・ボランティアをつなぐ教育連携コーディネーターを配置

○平成30年度 市内全小中学校に教育コーディネーターを配置

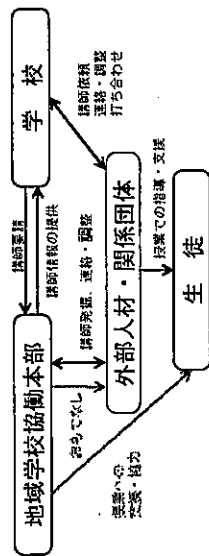
⇒①学校活動、②地域連携、③地域活動の分野で活動を展開

○令和元年度 地域学校協働活動へ移行

⇒多摩中学校を始め、小・中学校4区と中学校1校が移行

(2) 前島 正明
...多摩市立多摩中学校校長

- 平成23年8月に学校支援地域本部発足
- 平成30年4月に地域学校協働本部に改称・改編



1年生「地域巡り」

2年生「伝統文化継承会」

3年生「キャリア教育」

F組「自立活動の支援」

学習部門 (検定・補習)

環境整備部門 (畑・花壇)

行事部門 (野点・そらめん流し・芋煮会・避難所宿泊訓練)

多摩中学校地域学校協働本部のすごいところ

- 規約が整備され、活動がふれぬない。
- 財源の確保に努め、実効ある予算執行を行っている。
- 管理職、教員と忌憚のない意思疎通を図っている。
- 教育委員会、関係団体等と緊密に連携・協力している。
- 多様な人的ネットワークをもち、活用している。

「多摩中をよくしていくこう」という強い志（愛情）
献身的な企画力・行動力
強い絆、代表を中心とした求心力、協力体制

平成30年度 多摩市立多摩中学校 地域学校協働本部 活動報告

平成29年度 多摩市立多摩中学校 地域学校協働本部 活動報告

(3) 塩田 明美

…多摩市立多摩中学校地域学校協働本部代表

○学校が荒れていた時に、

「学校のため、子どもたちのため」を思っ**て活動**を始めた

⇒元PTA会長であり、保護者や中学生から様々な悩み相談を受けて対応したことがきっかけ

○活動がぶれないように、**組織と規約の作成**

⇒一緒に活動する仲間を増やしながら、活動の輪となる本部の組織と規約を作成

○活動が継続できるように、**財源を確保して予算執行を管理**

⇒運動会でおにぎり・飲み物を販売するなど、活動費を生み出す取り組みを行う

⇒販売等で得た売り上げは、すべて地域学校協働活動や子どもたちに還元できるところで使う

● 第2部

■グループワーク (45分間)

「学校・家庭・地域の連携・協働について」

①自己紹介

②情報交換

③まとめ

■発表 (15分間)



● 発表



○「学校・家庭・地域の連携・協働」について

社会教育と学校教育との話し合いが必要

○子どもたちの様子が伝わるとさらに良い

○協働から「ともに生きる」共生を目指したい

○行政の中で、横の連携を強めることが必要

○統括コーディネーターの存在が重要

○人材、財源確保が各地域共通の課題

○ボランティアが参加しやすい環境づくり

○「働き方改革」との関係

○地域学校協働本部と学校運営協議会との連携

● 感想

○活動の核となる人を見つけて確保することが課題である。

○人が変わっても活動を続けるために、

組織の規約を作ったことに感謝を受けた。

○多摩中学校のやり方は、すべての組織に通用するものである。

○どこも予算がない中、財源確保の工夫が大事である。

○パワフルで人望のある方がいる地域は良いが、

地域差が目立って他地域が疎外感を感じかねない。

ご清聴、ありがとうございました。

第4ブロック研修会実施報告

報告者：清瀬市社会教育委員の会議 議長 高井 正、委員 齋藤 しのぶ

開始日時	令和元年 10月 7日 (月) 14時 00分～16時 30分		
場 所	生涯学習センター7階 アミューホール		
参加者数	55名	幹事市	清瀬市

テ ー マ	学びと活動の循環をつくる～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進～
形 式 (方 法)	一部：講演会 二部：事例発表

【概要】

第一部

講演会「学校が変わる 地域が変わる 地域学校協働推進」

講師： 福田 晴一氏 (元杉並区立天沼小学校校長、みんなのコード主任講師 (プログラミング教育、文科省委託事業「学校と地域の新たな協働の構築のための実証研究」の地域学校協働活動推進・調査研究員、戸田市コミュニティスクールディレクター)

- ① なぜ地域と学校の連携が必要なのか。地域と学校の連携によってどのような効果があるか。などの基礎知識を座学形式で学ぶ。(日本の教育の現状をデータを基に説明)
- ② ワールドカフェ方式で、意見を出し合う。
- ③ アイスブレイク「私の町の自慢」
- ④ テーマ (よりよい学校、より良い地域とは何か?)
ラウンド1：学校と地域の良い関係とは何か (こんな学校、こんな地域)
ラウンド2：そのためにあなたは何をするか
- ⑤ グループ発表
最後に、再度「メンチメータ」というアプリを使って、感想や意見を書いてもらい、内容を共有。

「メンチメータ」というアプリを使い、スマートフォンでその場でアンケートに答えることによって、リアルタイムで目の前のスクリーンに、各人の意見や集計結果が出る。

※メリットとして、口頭だと会場の皆さんからなかなか意見が出ないことが多いが、このような形式にすることによって、ストレートに自分の考えを伝えることが出来る。

第二部

清瀬市の事例発表

発表者： 齋藤しのぶ氏

清瀬市社会教育委員

第三小学校学校支援本部統括コーディネーター

- ・モデル校となった三小の立ち上がりについて
- ・三小の活動について
- ・第二中学校での活動について
- ・小学校と中学校の支援本部の違いについて
- ・アクティブシニア層の取り組みの重要性について

その後、小平市にも現状をお話いただいた。

令和元年度
東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会

第4ブロック研修会報告

清瀬市社会教育委員の会 議長 高井 正
委員 齊藤 しのぶ

目次

- ① 第4ブロック研修会概要
- ② 第1部 講演会「学校が変わる 地域が変わる 地域学校協働推進」
- ③ 第2部 事例発表「清瀬市の学校支援本部について」
- ④ まとめ

① 第4ブロック研修会概要

日 時: 令和元年10月7日 14:00~16:40 場 所: 清瀬市生涯学習センター7階 アムユールホール 参加数: 55名
テーマ: 学びと活動の循環をつくる～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進～

14:00	開 会 生涯学習部長 高井 正 副市長 齊藤 しのぶ 清瀬市社会教育委員 齊藤 しのぶ
14:15	第1部 講演 「学校が変わる 地域が変わる 地域学校協働推進」 特任非常勤講師 法人のこみどり 佐野 美穂 齊藤 しのぶ
15:45	～質疑応答～(10分程度) 外部 齊藤 しのぶ
16:00	第2部 事例発表 「清瀬市の学校支援本部について」 清瀬市社会教育委員 齊藤 しのぶ 清瀬市生涯学習センター 齊藤 しのぶ
16:40	～質疑応答～(20分程度) ※小平市の学校支援本部について等 閉 会 清瀬市社会教育委員 議長 高井 正

② 第1部 講演会・ワールドカフェについて



特別支援
東京都特別支援教育推進協議会
東京ブロック研修会 レジスタ

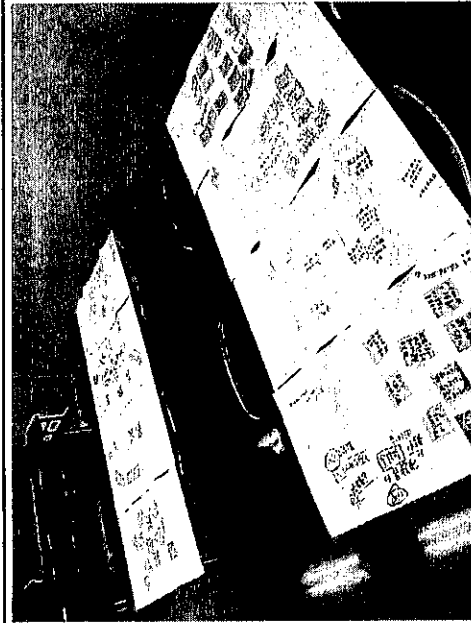
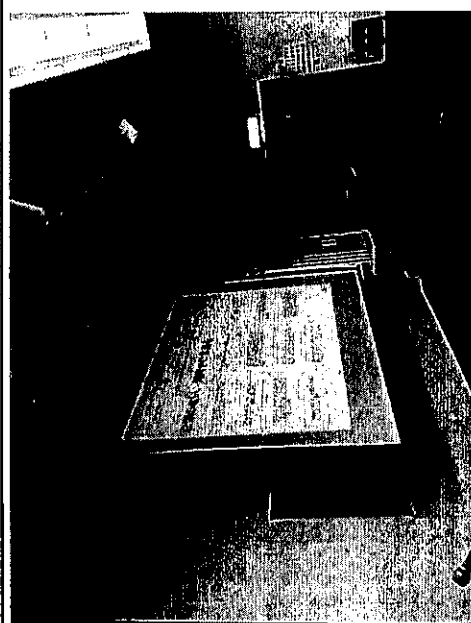
14:15～15:45
「学校が変わる 地域が変わる 地域学校協働推進」
特任非常勤講師 法人のこみどり 佐野 美穂 齊藤 しのぶ

15:45～16:00
～質疑応答～(10分程度)
外部 齊藤 しのぶ

16:00～16:40
「清瀬市の学校支援本部について」
清瀬市社会教育委員 齊藤 しのぶ
清瀬市生涯学習センター 齊藤 しのぶ

16:40～17:00
～質疑応答～(20分程度) ※小平市の学校支援本部について等
閉 会 清瀬市社会教育委員 議長 高井 正



③ 第2部 清瀬市の学校支援本部について

清瀬市の学校支援本部
の現状
→生涯学習へのつながり

清瀬市学校支援本部
統括コーディネーター
齋藤しのぶ

小学校の学校支援本部と
中学校の学校支援本部の
違いとは？

小学校での事例
清瀬第三小学校での活動

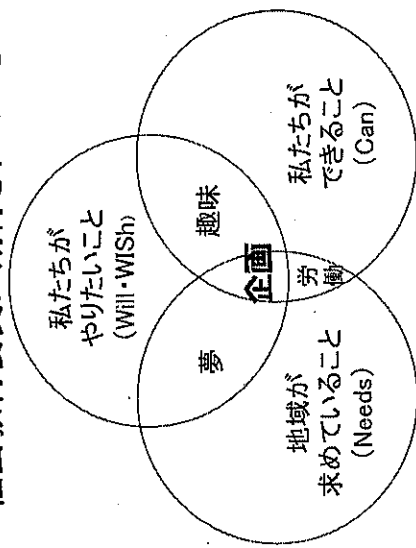
- ・サマースクール
- ・学校での授業支援
- ・地域の方々のイベント
- ・ボランティア活動運営

④ まとめ

変化の激しい時代にあって、これからの学校改革に
求められる視点<講師の福田先生>

- ・テクノロジー(超スマート社会)
- ・多様性(インクルーシブ教育)
- ・地域連携(教育再構築)←私たちへの期待

おわりに 社会教育委員に期待されていること 企画提案



第5ブロック研修会実施報告

報告者：調布市社会教育委員の会議 議長 篠崎 光正

開始日時	令和元年 11 月 24 日（日） 14 時 00 分～16 時 20 分		
場 所	調布市グリーンホール 小ホール		
参加者数	社会教育関係者 46 名 一般観覧者 42 名 合計 88 名	幹事市	調布市

テ ー マ	市民参加演劇で不登校問題を考える
形 式（方法）	<p>演劇を通して、不登校問題の心情を理解することで、多角的な視点から課題解決に向けた検討を行う。</p> <p>(1) 演劇の上演 (2) 全体討議</p>
<p>【概要】</p> <p>(1) 開会あいさつ</p> <p>(2) 演劇上演 タイトル：「トシドンの放課後」 演 出：篠崎 光正 脚 本：上田 美和 出 演 者：3 人（市報やホームページで公募） スタッフ：調布市社会教育委員及び社会教育課職員、ボランティア</p> <p>(3) 全体討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校について ・ 自己肯定感について ・ 居場所について ・ まとめ <p>(4) 閉会あいさつ</p>	



トシドンの放課後

作：上田美和 演出：篠崎光正



作・・・上田美和
演出・・・篠崎光正
美術・・・M.S. コルヴァージェ
照明・・・黒尾芳昭
照明オペレーター・・・西牧委員
音響・・・小塚たか子
音響オペレーター・・・宮下委員
大道具・・・細川委員・進藤氏・阿部将生
 入来悠大・篠崎議長
小道具・・・菊池委員・進藤委員・矢幡委員
衣装・・・荒井委員・菊池委員

映像撮影・・・矢幡委員
舞台監督・・・阿部将生・入来悠大
お面（トシドン）制作・・・芦川先生
 （調布市立第二小学校）
稽古場提供・・・白百合女子大学
小道具協力・・・高津舞台美術装飾
制作協力・・・シノザキスタジオ
照明協力・・・アザー
上演制作準備・・・
調布市教育委員会教育部社会教育課

高校の生徒相談室。男子生徒が一人、本を読んでいるところへ、教師が女子生徒を無理やり引っ張って入ってくるところから劇は始まる。男子生徒は別室登校中の平野強（つよし）、女子生徒は学校謹慎中の森田あかね。この二人が出会いを通して、互いに成長していく様子を描いた作品。

役 森田あかねのセリフ

普通がそんなによかこっか！

cast

森田あかね 吉田茉咲



卒業公演後、知り合いから「君にピッタリの役があると誘われる。胸を躍らせて台本を読むと「恋愛馬鹿ヤンキー少女」あれ？私から程遠いぞ？でも読み進めると根は優しい不器用で素直な女の子。なるほど確かに私だ。
吉田茉咲

平野強 清水裕翔



教師 みぞぐちあすみ



別室登校には覚えがある。近い人、彼女の心はどうなっていたのだろうか。想像も、理解も、すべてが出来るわけではない。だけど、少しでも、いま、悩んでいる誰かの心に響いてくれれば。清水裕翔

初めて教師という役を演じさせていただきました。生徒一人一人と向き合うことは大変だと思います。それでも、やはり一人の人間として向き合って欲しいと思いました。この作品が少しでも今後の教育のためになれば幸いです。

みぞぐちあすみ

第2部 社会教育委員研修会

日本の伝統文化 能の世界を楽しむ

～舞を見て ^{うたい}謡を体験しよう～

青木 一郎（あおき いちろう）氏

プロフィール

昭和23年生まれ

武蔵野市在住

2世梅若万三郎師、3世梅若万三郎師

祖父の只一、父の豊に師事

シテ方観世流準職分能楽師

財団法人梅若研能会所属

重要無形文化財総合指定保持者



主な所演曲

「千歳」「乱」「石橋」「道成寺」

「卒都婆小町 一度之次第」「求塚」「砧」

「藤戸」「恋重荷」「望月」「大原御幸」

「隅田川」「鉢木」「景清」「遊行柳」

「屋島 大事」「翁」ほか

東京を中心に公演出演する一方、地元吉祥寺のほか様々な場所で積極的に講座等を行い、能の普及発展に努める。

Q 梅若万三郎家とは？

A 600年前より続き、織田信長にも仕えた能の名家。昭和21年初世梅若万三郎が能楽界初となる文化勲章を受章し、その芸を受け継いだ3世梅若万三郎を中心に梅若研能会として、演能や普及活動に取り組む。

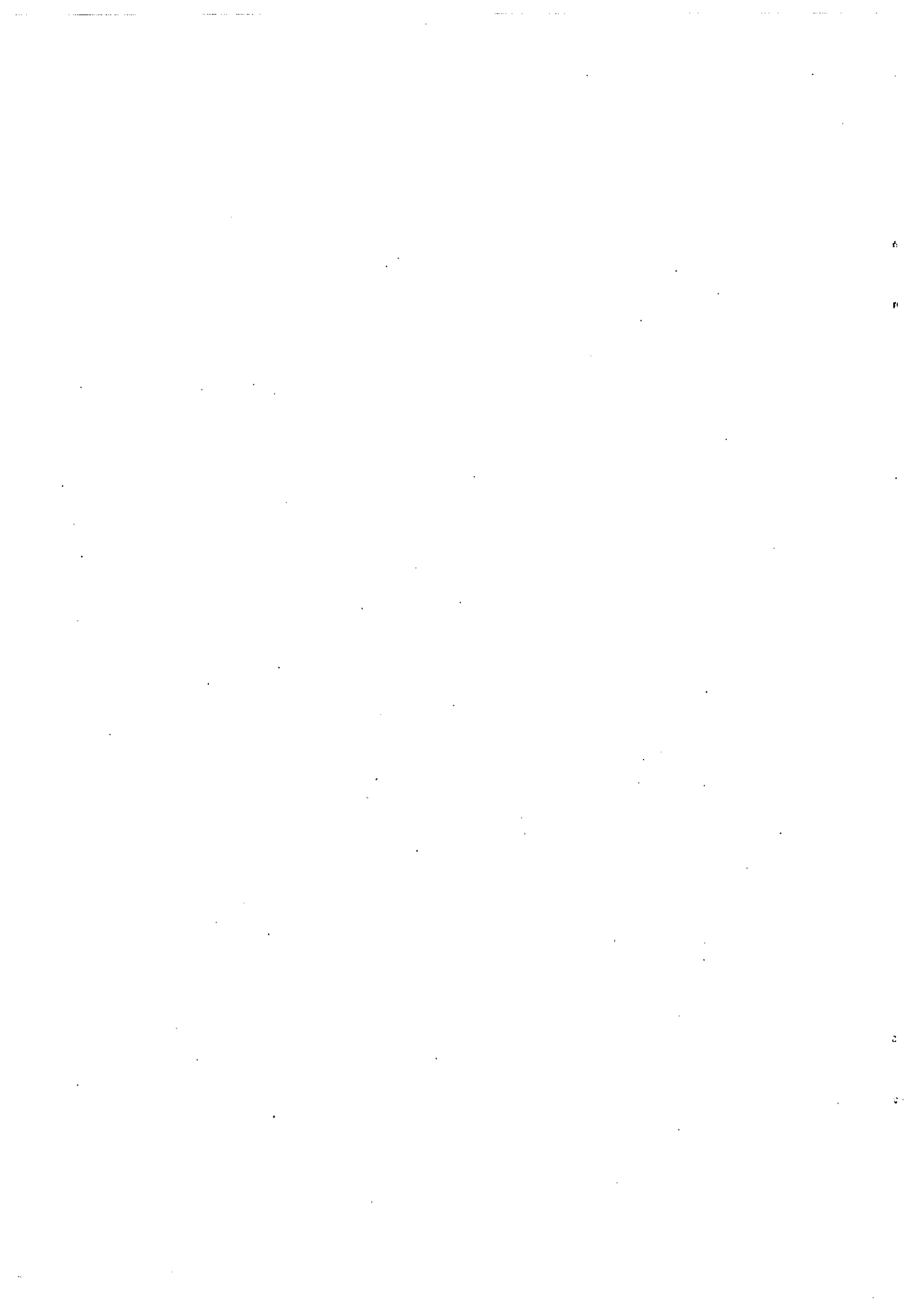
Q 青木家とは？

A 初世梅若万三郎の父、53世梅若実は天源淘宮術(精神修養術)を嗜んでおり、その師が青木露斎という人物。露斎の孫・只一が梅若家へ入門し、以来明治より梅若家を支える弟子家として活躍する。

●能の稽古…セリフを朗唱する謡(うたい)と、所作を演じる仕舞(しまい)があります。

令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会

発行年月 令和元年 12 月
編集・発行 東京都市町村社会教育委員連絡協議会



●能の魅力

○演劇としての特色：マイナスの芸術

役者の動作、セリフなどを極限まで割愛する

割愛された表現は観客の想像力で無限に増幅することが出来る
(観客の想像力に訴える)

→役者と観客が作り出す演劇(双方向型の演劇)

○時空を超えた物語

能は原作(伝説や物語)の後日談として描かれることが多い

この世に悔いを残して死んだ者の魂が自分の執心について物語る

舞台上の時間軸、空間軸が原作の世界へ移行し、現在進行形として物語られる

→どの時代の物語でも観客を原作の世界へ誘うことが出来る

○人間の持つ普遍的主題を描く

能を大別すると2つに分けられる

・神々が人々に長寿と繁栄をもたらす能 →祝言能

・死者が現世に現れ、救いを求める能 →鎮魂能

→「生」と「死」をテーマとした曲が多い

●能の基礎知識

○仮面歌舞劇

能とは能面と呼ばれる仮面を付け、謡(歌)と舞によって物語が進められる演劇

○能の歴史

奈良時代に大陸から輸入された〔散楽〕と呼ばれる民間芸能が起源。日本風に〔猿楽〕と呼ばれるようになり、世相を風刺する台詞劇が後に〔狂言〕として発展する。一方〔猿楽〕の歌舞的要素は、室町時代に足利義満の庇護を受けた観阿弥世阿弥親子によって〔能〕として確立される。能は武家の教養のひとつとなり室町時代以降明治維新まで将軍家、各大名の支援を受ける。明治維新後は政府や皇族、華族、財閥が能を後援し現在に到る。

○5種類の能

能の曲は大きく5種類の選別される

・初番目物(脇能、神能)

…神がこの世に現れ、人々に長寿と繁栄をもたらす能。

・二番目物(修羅物)

…源平時代の武将の幽霊が僧侶の前に現れ、死後に修羅道という地獄で苦しむ姿を見せ、救いを求める能。

・三番目物(霊物)

…高貴な女性の幽霊が現れ、昔を懐かしんで物語り舞を舞う能。

・四番目物(雑能)

…初番目～三番目物と五番目物に振り分けられない系統の物語を称す。その物語は多岐にわたり我が子を追い求める母を描いた狂女物や怨霊が取り憑く執心物や怨霊物、さらに史実的な物語など幅広い世界が描かれる。

・五番目物(切能、鬼能)

…鬼などの異界のものが登場する能。ある曲ではその力の威厳を褒め称え、またある曲では退治されるといったスケールの大きな物語が多い。

江戸時代、正式な行事の際はこの中より一曲ずつ選ばれ、その間に狂言が、また初番目物の前に神事的意味合いの強い「翁」が上演された。この上演方式を五番立と呼んでいた。

能と狂言の違い

		狂言	能
曲名		柿山伏	羽衣
演奏者	登場人物	シテ(山伏) アド(柿主)	シテ(天人) ワキ(漁師)
	進行補助	後見 1名	後見 2名
	楽器演奏	なし	囃子方 4名
	コーラス	なし	地謡 8名
	合計人数	3名	16名
能面 狂言面(シテ)	なし	あり	
劇の特徴		セリフ劇	仮面歌舞劇 ミュージカル
		滑稽 コミカル 笑いの劇	神秘的 シリアス 悲劇
		誰もが経験しそうな出来事	特殊な人の特殊な事件
表現する事柄	人の《欲望》や《執念》		
表現技法	極限までセリフ動作を割愛→観客に《想像》させる		

能「羽衣」のあらすじ

駿河の国、三保の松原に住む漁師白龍が釣りから帰ってくると、空から音楽が聞こえ、心地よい匂いがしてきます。見回すと、一本の松に美しい衣が掛かっており、白龍は家宝にしようと思い衣を手に取ります。

すると、一人の女が白龍を呼び止め、衣を返して欲しいと頼みます。聞けば女は天人で、衣は天の羽衣であることを言います。白龍はその様に珍しい物であることを知り、ますます返そうとしません。天人は羽衣が無くては天上界に帰れないことを悲しみます。

あまりに哀れに感じた白龍は衣を返す代わりに天上の舞を見せて欲しいと願いますが、天人は羽衣を先に返して貰わなければ舞うことが出来ないと言います。白龍は返してしまえば舞わずに帰ってしまうのではと天人を疑いますが、嘘偽りは人間にはあっても、天に偽りはないのだとの天人の言葉を信じ、衣を返します。

天人は羽衣を身にまとい、月世界に住む天人の面白い風習や三保の松原の景色を褒め称え、駿河舞を舞いながら人々に宝を授け、天へと帰って行くのでした。

「羽衣」謡体験

羽衣 舞

ワキ
○もとよりこのみはころなき
○あまのはごろもりかくし

上揚音 アー
上音 ○かのおまじとてたちのけば アー
中揚音

上揚音 シテ オー
上音 ○いまはさながらてんにんも オー はねなきとりのごせ
中揚音

上揚音
上音 くにてー あがらんをすればごろもなし
中揚音

上揚音 ワキ
上音 ○ちにまたすめばげかいなり
中揚音

上揚音 シテ オー
上音 ○とやあらんかくやあらんをかなしめど オー
中揚音

上揚音 アー
上音 ○はくりよおころもをかえさねば アー
中揚音

上揚音 シテ ッ
上音 ○らからおよばず ッ
中揚音

上揚音 んか
上音 ○せん
中揚音 たも